

関連資料5 沖合域における自然環境保全地域の指定等について

自然環境保全法（昭和47年6月22日法律第85号）は「自然環境の適正な保全」などを目的とし、原生自然環境保全地域、自然環境保全地域及び都道府県自然環境保全地域等について規定している（下図）。国が海域に指定できるのは自然環境保全地域の海域特別地区と普通地区であり¹、これらの区域は、指定目的や規制内容からして、沖合域の生態系等を保全するための海洋保護区として適切と考えられる。

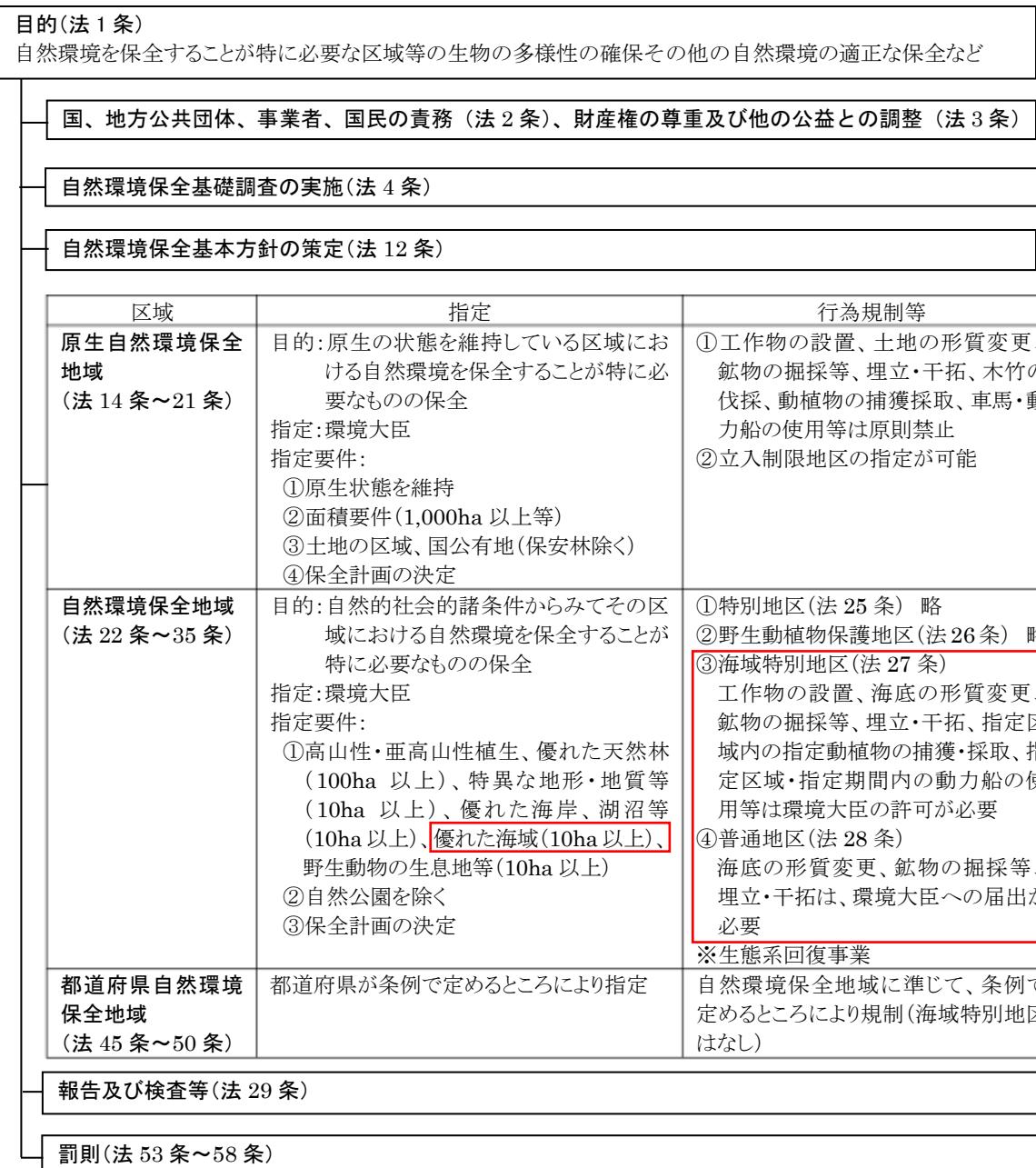


図 自然環境保全法の構成

¹ 原生自然環境保全地域の指定は現行法上「土地の区域」に限られ、陸域での運用が想定されている（法14条）。都道府県自然環境保全地域は陸域に限られないが、都道府県が指定する（法45条）。